

13番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、 市民に判りやすい透明性のある庁議及び会議のあり方について</p> <p>【質問趣旨】 市民生活の多様化に寄り添うための事務事業の見直しや、新たな政策事業の是非をタイムリーに議論し、いち早く実行することは、市民にとって開かれた議論の場を作るとともに、市民との信頼関係の構築や自治体運営への関心を高めることにつながります。</p> <p>(続く)</p>	<p>(1) 庁議及び会議の現状について</p>	<p>① 本市の庁議・会議（審議会、審査会等含む）には、政策会議を頂点に、有識者への諮問を経た会議、複数の関係課が集う庁議（会議）、部や課での個別の庁議（会議）等、多種多様の会議が設置されています。そうした庁議・会議ごとの位置付けは、どのような基準で定められ、現時点でどれくらいの数があるのか伺います。</p> <p>② 庁議・会議における透明性を確保するためには、会議が開催される度に、その議事録や会議資料を間断なく公開することが求められていますが、現状は、傍聴が可能な庁議・会議以外は、非公開のものがほとんどだと思います。公開となっていない理由と、改善の余地についての見解を伺います。</p> <p>③ 情報化が進んで会議資料の事前配布がしやすい環境が整い、瀬戸市の庁議・会議でも、事前配布がされるようになったと聞いています。庁議・会議の透明性を示す意味で、市民にも庁議・会議出席者への配布と同じタイミングで、会議資料及び何が議論されるのかを示す議題を公開する取り組みをしている自治体もありますが、そうしたことを実践するための見解を伺います。</p> <p>④ 現状は、庁議・会議を経て意思決定がされた後に、議会に報告されていますが、この手法では、議論の過程が見えず、どのような議論がなされ、結論に至ったかが見えません。そこで、なぜ現状の手法が望ましいと考えられているのか、合わせて改善の余地はないのか見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>このテーマは、現状の課題の確認と、これまで以上に市民の皆様が開かれた議論へと改革する提言をさせていただき、その実行によって、本市が住みやすく、安心して暮らせるまちになっていくことを期待して、市の見解を伺います。</p>	<p>(2) 意思決定の現状について</p>	<p>⑤ 近年、生成AI技術を導入することで、会議後30分もあれば会議録と概要版が作成されるようになりました。この技術は、個人情報をもスキミングする機能も備えているので、これまでのように複数の職員が、何度も確認を重ねる必要がなくなり、職員の負担軽減にもつながります。こうした新技術の導入によって、リアルタイムに近い形で、庁議・会議のプロセスの公開を進めることについて、見解を伺います。</p> <p>① 自治体では、決裁を起案日から決裁日、施行日を付して意思決定された事になります。現状の庁議・会議での議論を踏まえた決裁までの時間は、一般的にどれくらいかかっているのか伺います。</p> <p>② 瀬戸市では、決裁規程を定めており、その基準に従って、副市長や部課長が専決できるようになっていますが、決裁区分ごとに処理された件数等をカウントしているのであればどれほどか伺います。</p> <p>③ 決裁を受ける基準と運用は、職員にとって必須の知識ですが、その職員教育を定期的に行わなければ、前例踏襲による間違った運用があったとしても気づかない事態が発生する可能性も危惧されます。また、こうした危惧は、決裁に留まらず、情報公開等の事務でも同じことが言えます。そこで、全ての職員を対象とした教育の実績と、今後の改善策について、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>④ 事案によって決裁者を設ける基準は、スムーズな事務事業の実行には欠かせない反面、市長の政策方針と違える場合であっても、市長を代理する部課長の意思で決裁されてしまう事態が発生することもあるのではと危惧しております。その解決には、これまでのような短時間の市長報告で済ませるのではなく、全ての庁議・会議のプロセスを間断なく市長が見られるようにすることが唯一の処方箋だといえますが、こうした改革への見解を伺います。</p> <p>⑤ 自治体の意思決定は、市長の政策判断であって、副市長や部課長が市長への説明不足にならないようにするためにも、庁議・会議の場で十分に議論がされるものだと思います。そうしたあるべき姿として、現状の庁議・会議で、意思決定の機能が十分に果たされているのか、また、改善点はないのか、見解を伺います。</p> <p>⑥ ④の改善点があるとするれば、いつまでに改善を実行しようと考えているのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 透明性ある庁議と意思決定のあるべき姿に関する提言について	<p>① 庁議の過程をガラス張りで見せることは、市民との信頼関係の構築や自治体運営への関心を高める改革であり、待ったなしで進めるものだと思います。そこで、まずは、最高庁議である政策会議を対象に、AI技術を導入した議事録作成によって、中断なく議会・市民に情報共有することから始め、できる限り早く多くの庁議・会議等に拡大する必要があると思います。この提言について、見解を伺います。</p> <p>② 庁議・会議の予定及び議題を、市民及び議会に情報発信する事が有意義であると考えますが、この実現に関する見解を伺います。</p> <p>③ これまでマスコミでも取り上げられてきた密室庁議（会議）や、意思決定の矛盾を解消するには、少なくとも上記①や②で提言した改善について、やりたくない、変えたくない理由を探すよりも、どうしたら出来るかの気概を持った挑戦が必要であり、市長自らが陣頭指揮を執って進めない限り実現できないと思います。市長の姿勢として、私の提言を早急に実現するための議論をすることについて、市長のお考えを伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。